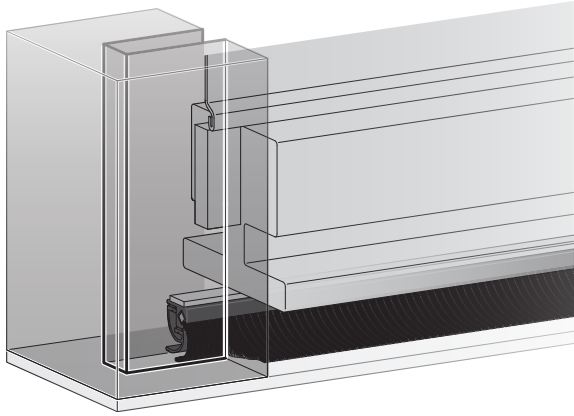


KABUSHUT カブシャット



施工説明書

スタンダード／カブシャット

このたびは、カブシャットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、取り付け前に必ずお読みください。

■シャッターメーカー様および弊社認定の施工業者様以外による施工、または説明書に記載されていない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠ 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

⚠ 注意



禁止

●この商品はシャッター下部専用です。
他の用途には使用しない



必ず守る

●夏場で直射日光の当たる場所やアスファルトの上など、高温になる場所に置かない
変形の原因となります。

部品・部材

部品・部材名	下部用部材	すき間埋め用スポンジ	
		手動シャッター用	電動シャッター用
姿図	 長さ：1m	 サイズ：60×10×5mm 両面テープ付き	 サイズ：60×10×10mm 両面テープ付き
入数	1本	2個	2個

※取付用ねじは付属していません。
推奨ねじ：
小頭テクス(ねじ)(ステンレス)
M4L16、または、M4L19

⚠ 注意



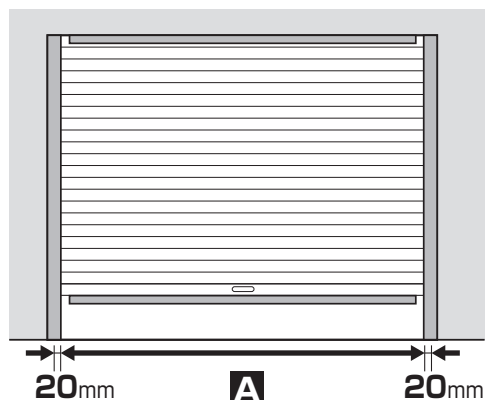
必ず守る

座板からネジが貫通した場合、怪我をしないように適切な処置を施してください。

取り付け手順

1 部材のカット

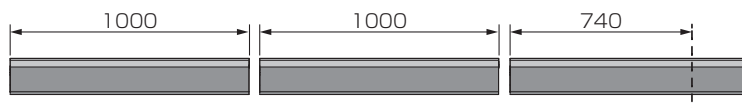
- 1 部材寸法を確認する
- 2 必要な長さに部材をカットする



A 下部

シャッター開口幅 + **40mm**にカットする。

例. シャッター開口幅2700mmの場合

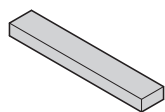


※両面テープでの接着になりますので、1本あたりの長さは**200mm以上**が推奨です。

すき間埋めスポンジについて

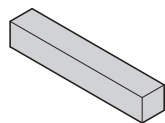
障害物検知装置付きの座板の場合は、すき間ができる場合があります。その場合は、すき間埋めスポンジをアルミ部分に貼ってすきま間を埋めてください。

手動シャッター用



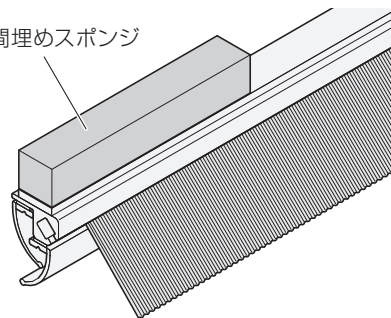
サイズ:60×10×5
両面テープ付き

電動シャッター用

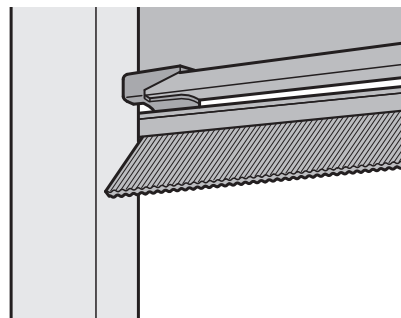


サイズ:60×10×10
両面テープ付き

すき間埋めスポンジ



軽量シャッターの場合、水切りカバーがついている場合がありますので、スポンジ材を付けてください。



2 下部用部材の取り付け

- 1 下部(座板)底面を清掃する (強く接着するため)

両面テープによる施工のため座板の底面をパーツクリーナーやシンナーなどの油分を取り除く溶剤で清掃してください。

⚠ 注意

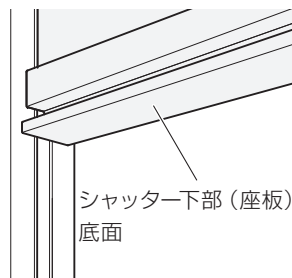


必ず守る

- 下部(座板)底面を必ず清掃する

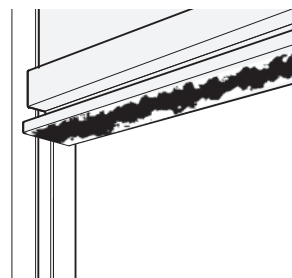
接着不良により下部用部材が落下してけがをするおそれがあります。

○



シャッター下部(座板)底面

×

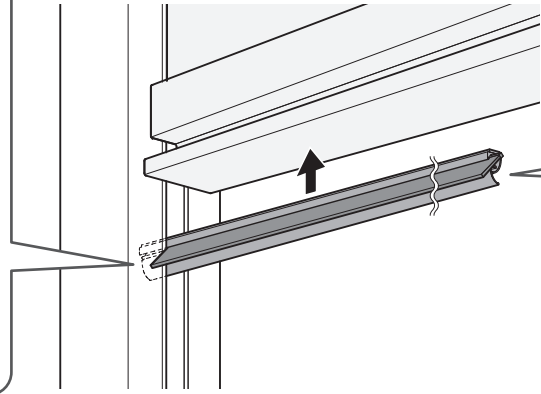
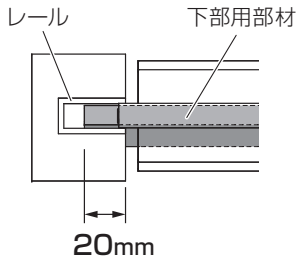


② 下部用部材を取り付ける

両面テープの剥離紙を剥がし、座板の中心に合わせて取り付けてください。

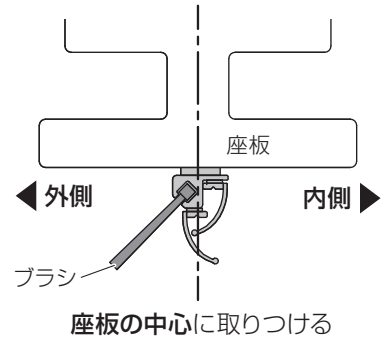
重要

シャッターのレールに
約20mm差し込む。



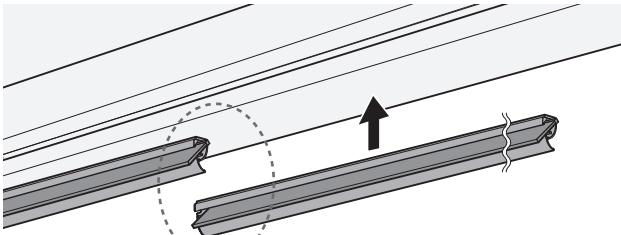
重要

ブラシの向きと取り付け位置に
注意する。

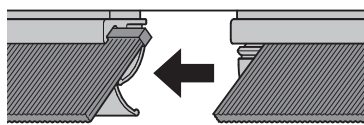


③ 2本目以降を取り付ける

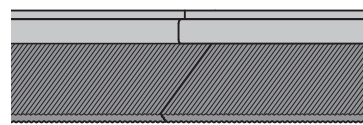
ブラシにすき間ができないように、ホルダーからブラシを5mm以上出して、
次のホルダーに差し込みながら取り付けてください。



重要



5mm以上出す



すき間ができないようにする

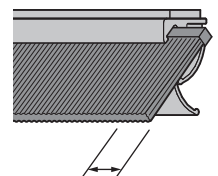
④ 最後の1本のブラシをカットする

重要

ホルダーから出ているブラシをカットする。

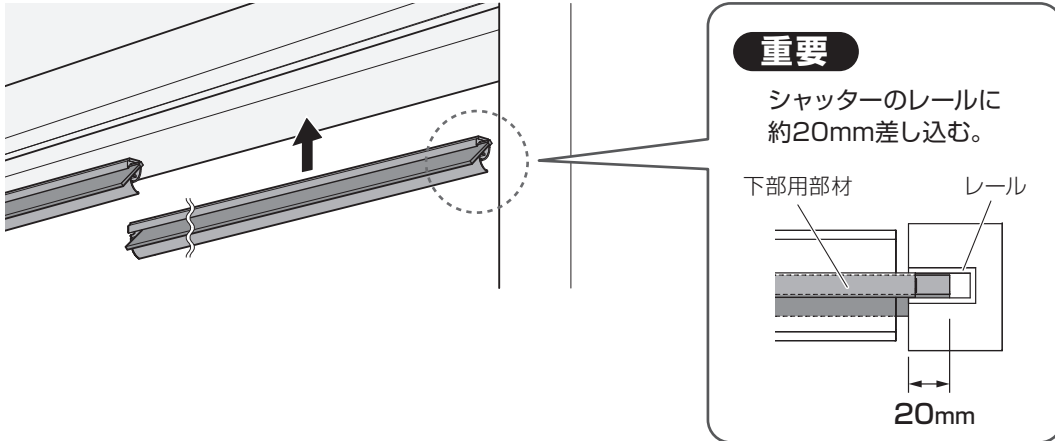
最後の1本は、ホルダーとブラシの終端が揃うようにブラシをカットしてください。

例. シャッター開口幅2700mmの場合



ホルダーから出る部分をカット

5 最後の1本を取り付ける



※下部用部材を取り付けると、シャッターを閉めた状態では座板が約15 mm上がります。

鍵受けの位置を鍵のかかる位置に変更してください。(シャッターの鍵がかからなくなるおそれがあります。)

※電動シャッターに施工する場合、リミット調整が必要になる場合がございます。

取り付け後の確認

- シャッターの開閉が問題なく開閉できることを確認してください。
- シャッターの鍵が閉まることを確認してください。

こんなときは

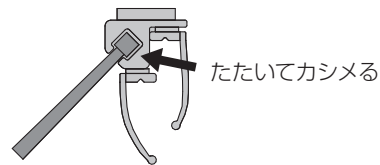
Q ホルダーの取り付け位置を間違えた

- A** ホルダーを取り外して、再度取り付けてください。

ただし、一度外すと両面テープの接着力が低下していますので、市販の強力な両面テープをお求めいただき、ホルダーに取り付けてください。

Q ホルダーからブラシが動く

- A** ホルダー両端をペンチかかならずで矢印の方向からホルダーをたたいてカシメてください。



Q 両面テープで接着できない

- A** アルミ部分からねじで固定ください。

その際、小頭テクス(ねじ)を使用するとゴム部分がねじの頭でふくれることが少なくなります。ただし、障害物検知装置付きの座板にはねじを打ち込まないでください。(ねじは両端から20mm、ピッチ320mmで固定してください。)

